

校長室から応援メッセージ(9)

令和5年2月22日(水)

2月22日はネコの日ですが、そんなことは関係なく、我が家の姉妹ネコは今日も縁側に寝そべっていつもと同じ一日を過ごしています。寒さが次第に緩み、少しずつ春に近づいていることが実感される光景ですが、ネコは時の過ぎゆくことをどう感じているのでしょうか。聞いてみたくになります。

フランスの哲学者ベルクソンは言っています。「一瞬で過ぎ去る現在は、次々と過去に繰り込まれ、消えていくかのように見える。しかし全ては記憶として保存され、過去は膨らみ続けていくのだ。人間の脳は今を生きるのに必要な記憶だけを意識するように働くため、多くの記憶は日頃意識されないが、無意識のうちに私たちの考え方や行動を左右しているのである」。

人生の時間の最先端にいる私たちは、全ての過去の記憶と共にあって、過去の記憶に支えられて生きています。人は目を未来に向け、夢や希望を語りますが、前ばかりでなく、後ろを見ることも大事で、過去の記憶の役割やその重要性にもっと注目すべきではないか、とベルクソンは考えています。

そこで私は、「今がんばるのは過去を豊かにするためである」と考えてみたいと思います。一瞬の現在は次々に過去に取り込まれ、過去は膨らみ続け、その記憶はたえず書き換えられます。その豊かさを増していく過去の記憶が、いつの間にか私たちの生きる力となっているのではないのでしょうか。

皆さんの人生はこれからです。すでに長い時間を生きた人から受け取るアドバイスは、先走りし過ぎたり、石橋を叩き過ぎたり、かえって皆さんの不安を掻き立てるだけかもしれません。今の自分を精一杯生きる、まず今日一日をまっさらな気持ちで生きてください。楽しい経験も悲しい経験も時間が経って記憶として思い出すたび、その記憶は刻々変化し、ますます味わいを深めていきます。その記憶が総動員で未来の自分を支えてくれるのです。

大学入試の真っ只中ですが、結果として入学する大学がもともと何番目の志望だったのか、などはどうでもよく、大切なのはその大学に入学したあなたがどのような学問と出会い、どのような先生や友人と出会うか、ということです。あなたという人間と、あなたの選んだ大学との出会いが全てです。

〇〇大学に入学・卒業、〇〇会社に就職、〇〇さんと結婚・・・、あなたを主役とする様々な出会いがあなたの人生です。人の数だけ人生があり、その主役が違う人生と人生の比較はできません。無意味です。自分を信じて、自分の人生を堂々と生きるだけです。大学入試においても堂々と最後まで挑戦する主役を演じてください。山梨予備校は皆さんを応援しています。